

令和2年度事業評価委員会意見・提案

公益財団法人静岡県生活衛生営業指導センター

事業評価委員会

- ・開催日 令和3年2月15日（月）午前11時分から12時
- ・場所 静岡生衛会館（静岡市）
- ・委員 6名（大坪会長、増田委員、坪内委員、平松委員、岡田委員、
 寫本委員）
- ・オブザーバー 静岡県健康福祉部生活衛生局 漆畑衛生課長

令和2年度事業の取組み等への意見や提案（要旨）

令和2年度指導センター各事業計画、令和元年度事業実績等指導センター事業全般の報告ののち、今回は、全国センター受託事業の2事業について、特に意見、提案等を伺った。

全国センター受託事業について

（1）標準営業約款事業について

Q Sマークがなければ営業できないくらいの厳しさとしなければ、加入促進は出来ない。

A 組合支部からはメリットはと聞かれるが、お付き合い程度となってしまうている。

Q 約款登録店舗数の減少、組合員の減少が続く中、将来、組合自体の存続も問われるのではないか。

A 約款登録店舗数を増やすためには、一般消費者に制度を周知する必要があり、委員会よりいただいた意見により静岡駅コンコースでの街頭啓発キャンペーンを実施している。

Q 人出の多いところで目に見える形で街頭啓発を行ったことは良いことである。継続的に願います。

A 今後とも続けていく。

（2）クリーニング師等研修事業について

Q コロナ禍、高齢化が進む中で、オンライン研修の実施について。

A 今後の大きなテーマではあるが、事務負担が大きい。新型コロナウイルス感染症対策を実施して開催した。